

# 9月は世界アルツハイマー月間

～住み慣れた地域で自分らしく暮らすために～

認知症は誰もがなり得るものであり、ご自身や家族が認知症になることなどを含め、多くの方にとって身近なものとなっています。こうした中、認知症の方を単に支えられる側と考えるのではなく、本人が認知症とともにいきいきと生きていくことができるよう、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができる社会の実現が求められています。

認知症の正しい知識や理解を深めるため、1994年国際アルツハイマー病協会は、世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、啓発活動を行っています。

住み慣れた清川村で、安心して暮らし続けることができるよう、村では認知症に関するさまざまな取り組みを行っています。



## 【認知症とは】

脳の変性疾患や脳血管障害によって、記憶や思考などの認知機能の低下が起こり、日常生活や社会生活に支障をきたす「状態」(およそ6カ月以上継続)を言います。

認知症の症状には、脳の細胞が壊れて直接起こる症状(記憶障害、見当識障害、理解・判断力の障害、実行機能障害など)と、性格・環境・人間関係などの要因により精神症状や行動に支障が起こる症状(不安、うつ状態、幻覚・妄想、徘徊、興奮・暴力、不潔行為など)があります。

認知症は「状態」であり、原因となるさまざまな病気があります。病気や症状によって、治療法や、対応を変える必要があります。

## 運転免許を失った高齢者の相談支援に関わる協定について

清川村と、神奈川県警察は「運転免許を失った高齢者の相談に関する協定」を令和5年6月30日(運用開始日：令和5年7月1日)に締結しました。

この協定の締結により、運転免許更新時に行う認知機能検査などの結果によって、運転免許の更新ができなかった高齢者のうち、日々の生活や認知症などの相談支援を希望する方について、神奈川県警察が清川村に相談支援の情報提供を行うことで、認知症の早期発見・早期対応と高齢者の生活の質の維持・向上を図ります。

## 高齢者運転免許証自主返納者支援事業

## かなちゃん手形の購入費を助成

**対** 村内在住で70歳以上の方で、平成31年4月1日以降かつ、満70歳となる年度以降に所有する全ての運転免許証を自主返納された方

※失効した方は対象外

**内** かなちゃん手形(1年券)の購入費の全額を助成(2年間まで)。6・12月期販売分が対象。

**他** 申請方法などは保健福祉課福祉係(☎(288)3861)までお問い合わせください。

## ～清川村の認知症施策の取り組み～

参加しよう！

去年は工作体験で「扇子の壁紙」を作りました！



### オレンジカフェきよかわ

認知症の方とその家族、地域住民など誰もが気軽に集える場所として、年1回「オレンジカフェきよかわ」を開催しています。

保健師や社会福祉士などの専門職が介護についての相談に応じるほか、工作体験やゲームなど、皆さんと楽しいひと時を過ごしています。

### 介護者交流会「みかんの会」

介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、年4回「みかんの会」を開催しています。

保健師や社会福祉士などの専門職が介護についての相談に応じるほか、卓球・ボッチャなどスポーツやゲームの実施、宮ヶ瀬湖畔園地の散策など、さまざまな活動を通じて交流を行っています。

### 介護予防教室

65歳以上の方を対象に「認知機能向上教室(脳活性化教室)」を月3回開催しています。

認知機能低下を予防するための体操や講話を行っています。

認知症について学び、支えよう！

村では社会福祉協議会と連携し、認知症に対する理解促進のため、地域で活動する「認知症サポーター」を育成する講座と、「チームオレンジ」の構築を行っています。

また、9月1日(金)から30日(土)までの間、村図書館内に認知症に関する図書の特集コーナーを設置しています。

### ～認知症サポーターとは～

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の方やその家族に対してできる範囲で手助けをする「応援者」です。

### ～チームオレンジとは～

認知症の方や家族の困りごとなどの支援ニーズと、認知症サポーター(ステップアップ講座を受講した者)を中心とした「支援者」をつなぐ仕組みのことです。

### 活動内容

見守り・声掛け、話し相手、認知症の方の困りごとの把握などです。



活動の中で知り得た秘要は、守られます。



認知機能向上教室(脳活性化教室)のようす



認知症サポーター養成講座のようす

相談しよう！

40歳以上の方で、認知症が疑われる方などを対象に、専門医や保健師、社会福祉士などのスタッフで構成された「認知症初期集中支援チーム」が、認知症のことや家族の困りごとなどの相談を受け付けています。

また、認知症のこと以外にも、地域包括支援センターでは、高齢者の健康のこと、介護のことなど随時相談を受付けています。

お気軽にご相談・ご連絡ください。